

第1学年 算数科 年間学習計画

目 標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学期	4	○くらべたことがあるかな・おおいのはどちらかな	【知識及び技能】 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
	4-5	1. なかまづくりとかずく条件に応じて集合をとらえる>	
	5	2. なんばんめ<順序や位置を数で表す>	
	6	○どのようにかわるかな ○しあげよう	
	6-7	3. あわせていくつふえるといくつ<加法の意味をとらえる> 4. のこりはいくつちがいはいくつ<減法の意味をとらえる> 5. どちらがながいく<長さの概念をとらえ測定する>	
2 学期	9	6. わかりやすくせりしよう<絵や図を用いて数量を表現し読み取る> 7. 10よりおおいかず<数構成に基づく加減計算をする> 8. なんじなんじはん<時計の目盛りと針の機能をとらえる>	【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
	10	9. 3つのかずのけいさん<簡単な3つの数の加減計算をする> 10. どちらがおおい<体積の概念をとらえる>	
	11	11. たしざん<繰り上がりのある1位数同士の加法計算をする> 12. かたちあそび<立体図形の基礎的概念をとらえる>	
	12	13. ひきざん<繰り下がりのある減法計算をする> ○どんなけいさんになるのかな? ○けいさんびらみっど	
3 学期	1	14. おおきいかず<簡単な3位数を数え、加減計算をする>	
	2	15. どちらがひろい<面積の概念をとらえる> 16. なんじなんぶん<何時何分の読み方をとらえる> ○ビルをつくろう	
		17. たしざんとひきざん<異種の量について加減計算をする>	
	3	18. かたちづくり<基本的な平面図形の構成をとらえる> ○1ねんのふくしゅう	